



今後、特別養護老人ホームの「新規」入所者は、原則、要介護3以上となる。(写真はせせらぎ荘)

合には特例的に認められるが、市町村によって判断に差が出るところが案ずるところである。  
軽度の人も含め、一貫したサービス体制づくりを構築したい。  
③補足給付に対象外の要件が加わることで、低所得者が施設からの閉め出しにつながるのではないかと懸念がある。  
細かい点については、まだ法律ができたばかりなので、よく分析して、求めるところは強く求めていきたい。

### 石綿セメント管 (水道管)の実態

佐藤幸一議員

石綿セメント管はセメントにアスベストを混合して製造された繊維セメントの一種であるが、水道向けの石綿セメント管は厚生労働省やWHOの見解によると、水道水に溶出するアスベストの量が極めて微量で、摂取による健康被害は認めないとされている。

本町の石綿セメント管の実態について伺う。

- ①石綿セメント管の総延長はどのくらいか、清水・御影地区別に伺う。
- ②現在まで更新した延長はどのくらいか。
- ③経年劣化による石綿セメント管が及ぼす影響と今後の更新計画について伺う。

高薄町長

①石綿セメント管の延長は、清水地区は31キロメー

トル、御影地区は7キロメートルである。  
②更新は進んでいる。清水地区は残り8キロメートルとなっており、御影地区は全て更新されている。  
③老朽化による更新は毎年随時行っている。早急な対応をしていきたいが、全国を対象とした補助事業を活用したいと考えている。できるだけ早く更新できるように努力していく。

### 荒廃した空き家の 対策は

佐藤幸一議員

- 空き家の現状について、
- ①全体の戸数は何戸か。
- ②今まで所有者と接触したことはあるか。
- ③所有者の反応はどうであったか。

高薄町長

①平成22年度の調査では98戸であった。その後、取り壊したり、増えた部分もある。現在はその前後の数と推測される。

②数件と接触し、3件ほど取り壊していただいた経緯がある。消防からも火災があり得るといふことから、取り壊してほしいとお願いしている。  
③資金の面から取り壊しできない、荷物がかなり住宅の中に入っていて整理するのが大変という話があった。

### 補助金の基準を 明確にすべき

角川徳寿議員

清水町では平成14年度の行財政改革により補助金に対する基準が設けられ、多くの団体補助金や事業補助金が削減された。基本的に補助金はゼロベースから見直すことになっており、その使い道についてはかなり細かい審査をしているはずである。

町が補助金を出す時は慎重にならなければならぬ。  
①どのような事業に対し

て補助金を出すのか。  
②その判断基準は何なのか。  
③要綱に基づく補助金の基準を広く町民に公表すべきではないかと考えるがいかがか。

高薄町長

①地方自治法において、公益上必要がある場合は寄附または補助ができることとされており、本町もこれを根拠に補助金等交付規則を定め、各種補助金を出している。  
②既存の団体は清水町団体活動補助金等交付基準により補助金を交付している。

補助金については毎年、総合計画ヒヤリング等で検証を行っている。  
新たなものに対しては、補助対象にするかどうか、公益上必要かどうかを検討している。  
③町民に広く関係する事業においては、補助の概要を公表している。整理をして、ホームページ等で公表していきたい。

### 本町の 成年後見制度の 実態

原 紀夫議員

生活が苦しい利用者に対し、代理人への報酬などを自治体などが助成する「成年後見制度利用支援事業」が義務化された。道内の多くの自治体が具体的な支援基準を定めた要綱や規則を設けていない中で、清水町に要綱や規則が備わっていることは評価できるが、厚生労働省の指導に反し助成条件を厳しくする町村もあると聞く。また、指導に従わない自治体には障がい者関連事業の補助減額を検討するとしているが、本町では問題がないか伺う。

高薄町長

本町の要綱は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の規定に沿った内容になっており問題はない。要綱が生かされるように、